

宇都宮大学国際学部附属  
多文化公共圏センター (CMPS)・福島原発震災に関する研究フォーラム主催

## 公開研究会のお知らせ

### 「脱原発の運動史ーチェルノブイリ、福島、そしてこれから」

原発は単なるエネルギー政策ではなく、「善き政治社会」、すなわち、民主主義に関わるイシュー

として立ち現れてくる。(『脱原発の運動史ーチェルノブイリ、福島、そしてこれから』「はじめに」)

『脱原発の運動史ーチェルノブイリ、福島、そしてこれから』(岩波書店、2019年4月刊行)の著者を迎え、日本における脱原発運動史を振り返りながら、「より豊かに民主主義を理解し、実践するヒント」(同書「はじめに」)について考える機会を設けます。ぜひ奮ってご参加ください。

日時: 2019年7月1日(月曜日)

16:10ー18:10 (開場は15時40分)

会場: 宇都宮大学峰キャンパス5号館A棟4階  
大会議室(廊下突きあたり)  
事前予約不要・学内の駐車場利用可



お問い合わせ: 多文化公共圏センター 028-649-5228 (月~金 9:00-17:00)

清水研究室 nshimizu@cc.utsunomiya-u.ac.jp

報告者: 安藤 丈将 (あんど う たけまさ) さん 武蔵大学社会学部教員

プロフィール: 専門は政治社会学。日本の社会運動と民主主義の歴史について研究している。オーストラリア国立大学アジア太平洋研究学院修了 (Ph. D. アジア太平洋研究)。著書に『ニューレフト運動と市民社会ー「六〇年代」の思想のゆくえ』(世界思想社、2013年)などがある。

コメンテーター: 田口卓臣さん (中央大学教授) / 津田勝憲さん (CMPS 研究員・農家)

(表紙画像出典: <https://www.iwanami.co.jp/book/b450142.html> 著者と出版社の許可を得て掲載しています)

本企画は JSPS 科研費 16K12368 の助成を受けたものです